

2022年度 富山県看護連盟事業計画

重点方針 1. 見える活動 2. 行動する会員 3. 確かな組織づくり

目的	目標	方針	富山県活動
政策実現力の強化	1、看護職国会議員の選出と支援	1)第26回参議院議員選挙に向けて候補者の当選 2)看護職国会議員の確保 3)公職選挙法の遵守 4)組織代表議員活動の共有	1)一①第26回参議院議員選挙で、組織代表候補者を高得票で当選を勝ち取る ②第26回参議院議員選挙総括を行い、次期参議院選挙への課題を見出す 2)一①次期衆議院選挙に向けて、岡山県看護連盟(阿部俊子衆議院議員)島根県看護連盟(高階衆議院議員)の支援を行う ②看護職国会議員の名前及び活動状況を周知する 参議院議員(石田まさひろ)衆議院議員(阿部俊子 高階恵美子) 3)一①選挙運動リーダー(支部長)強化研修等を検討し、主体的に選挙運動ができる自律した会員を育成する ②「参議院選挙実戦の手引き」や選挙ノウハウを活用し、コンプライアンスに基づいた安全な活動を実施する ③富山県の選挙活動に関する問題に、随時適切に対応する 4)一①広報媒体等の活用により、活動情報や政策立案のプロセスを共有する。
	2、看護政策の実現	1)日本看護連盟、富山県看護連盟の政策実現力の強化 2)現場の声の把握と改善 3)新型コロナウイルス感染対策政策の推進	1)一①看護協会の重点施策の実現に向けて、政策セミナー等を活用し意見交換を行う ②富山県自民党政調5部会福祉環境部会の委員との連携を密にする ③県選出の国会議員の政策説明会等に参加し連携を密にする ④政策要望に向け県看護問題対策議員連盟への提言を周知し、富山県看護連との活動を連動させる。 ④ブロック別看護管理者等政策セミナーを富山県で開催する 県別会議について、ハイブリットの活用により、若者等参加者層を拡大し政策提言力の強化を図る 2)一①「現場の声」を集約し、看護協会と協議し要望書等につなげる ②ホームページを活用し、会員の意見を集約し問題解決に向けて対応する ③議員の取り組む課題や政策等についてホームページを活用し、現場の声を反映したものに集約する ④政策提言された内容や制度改革に反映された成果を、広報媒体を活用しタイムリーに会員に周知する 3)一①感染対策に関する現状を把握し、富山県看護協会や関係国会議員等に情報提供をする ②富山県看護協会と協力し、地方議会・地方行政へ要望活動ができるよう情報提供する ③政策への成果を会員に知らせ、必要に応じて、会員や看護職への支援策を実践する ④コロナ対策支援について富山県議会、行政等に要望する
	3、看護を理解する国会議員の確保と支援	1)富山県選出国会議員との連携強化	1)一①看護政策の実現に向けて、県選出の国会議員との連携を図る ②富山県看護連盟が支援している国会議員との連携状況を把握し、国会議員を支援する体制を強化する ③国会議員の活動状況を把握し支援する 【田畑 上田 橘 衆議院議員】【野上 堂故 参議院議員】
	4、富山県議会、行政への影響力の強化	1)富山県における看護連等の活動の促進 2)富山県議会議員との情報交換と活動支援 3)富山県議会、行政等との情報交換	1)一①富山県の看護連等と連携し、看護政策の必要性の理解を図り、政策情報をタイムリーに提供し要望活動の支援をする 2)一①富山県議員との交流の場を設け、看護連盟に対する理解を深める ②富山県議員の要望行動を把握し、活動を支援する 3)一①富山県議会、行政等に要望書を提出する ②富山県行政の看護政策に関する情報を積極的に入手する ③看護政策実現のために行政へ働きかけを行う
	5、富山県での議員の擁立と支援	1)富山県における候補者の発掘や育成 2)議員との連携強化	1)一①県議、市議、首長への立候補者の発掘と人材育成の支援を行う。 ②富山県、政治団体が実施している若手育成プログラム等に、積極的に参加できるように適宜情報を提供する 2)一①富山県議員の対応強化と支援を行う ②富山県議員の活動に積極的に参加及び支援を行う ③第26回参議院議員選挙の際の富山県議員の応援実績(地域得票数、後援会名簿数、選挙運動参加等)を把握し、支援の在り方を検討する
組織力の強化・拡大	1、看護連盟・看護協会の連携・協働のさらなる推進	1)富山県看護連盟と富山県看護協会との連携強化	1)一①富山県看護連盟会長と、富山県看護協会会長が互いに活動方針について報告する ②富山県看護連盟、富山県看護協会の会長・役員が看護政策について適宜協議し、要望書等の作成を行い、行政・政党・議員へ提出する ③看護連盟と看護協会「合同会議」を必要に応じて開催し有機的な連携・協働のあり方を検討する ④富山県看護協会総会・看護連盟総会に富山県の看護協会、連盟会長が相互に参加する

目的	目標	方針	富山県活動
組織力の強化・拡大			<ul style="list-style-type: none"> ⑤富山県看護協会の種々の研修等の機会に、看護連盟の意義を伝え、政治活動における連携の重要性を働きかける ⑥第26回参議院議員選挙における協力体制を評価し、継続して協働する ⑦会員確保や選挙活動の在り方を検討する ⑧富山県看護連盟と富山県看護協会の連携における課題を整理する
	2、広報活動の強化充実	<ul style="list-style-type: none"> 1) 会員に向けた広報活動の充実・強化 2) インターネットを活用した有効な情報発信 3) 選挙活動に有効なインターネット広報ツールの構築 	<ul style="list-style-type: none"> 1) ①機関紙アンフィニのタイムリーな情報提供の継続・充実を図る ②ミニアンフィニのタイムリーな情報発信に努める ③日本看護連盟、富山県看護連盟のホームページ、SNS等を活用したタイムリーな情報提供を継続する ④紙媒体の広報ツール(富山県看護連盟 機関紙とやま、会員ハンドブック、日本看護連盟入会のご案内、賛助会員入会のご案内、アンフィニ等)を利用し、会員への情報提供を図るとともに、適宜見直す ⑤看護職議員の活動報告・トピックスをHPにて広報する 2) ①富山県看護連盟HPの閲覧数を増やす (2021年度サイトアクセス数 5,471件 から 2022年度 8,000件へ) ②Web版アンフィニについて研修会毎に紹介する ③Web版アンフィニのトピック記事について、富山県HPよりタイムリーな情報発信に努める ④インターネット広報の人員体制を整える 3) ①インターネット選挙に向けての方策を検討する ②効果的なSNSの活用について学ぶ機会を設ける ③候補予定者事務所と看護連盟組織強化委員会、広報委員会、研修委員会、青年部委員会と連携を図る ④候補予定者のSNSの認知度を高め、フォロワー数をあげる ⑤公式HPやWeb版アンフィニ、SNS等に看護職国会議員SNSをタグ付けし、拡散する ⑥連盟役員、地区支部長、施設代表者などは、登録数を増やし広報ツールを活用する
	3、看護連盟の活動の強化および周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> 1) 日本看護連盟・富山県看護連盟との情報の共有化 2) 自律した会員の育成を目指した研修の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 1) ①中央役員会及び各種委員会、執行部の情報、日本看護協会の政策情報等について得られた情報を整理し、富山県看護連盟役員に必要な応じて発信する ②各種会議【役員会・合同役員会】委員会【特別委員会】の活性化を図る ③県別会議では、日本看護連盟役員より富山県の特性を活かした会員確保・選挙戦略についてアドバイスを受け実践につなげる ④ブロック協議会長会において本部役員との情報共有、課題解決を図る 2) ①未入会者及び連盟会員に対し連盟活動の理解を深め、各選挙に積極的な参加を促す研修のあり方を検討する ②感染対策を考慮し、効果的・効率的な会議・研修を企画する ③新基礎研修資料を、新人会員・未入会者層の研修や集会で活用する ④看護職国会議員のビデオメッセージ、国政報告等を活用する ⑤安定的に研修会や会議を行うためにオンラインを活用する ⑥研修会や会議をリモート開催する能力を高めるために ZOOM研修会等について学ぶ機会を持つ
	4、会員確保対策	<ul style="list-style-type: none"> 1) 2022年度の会員目標数の設定と目標管理 2) 看護連盟入会の促進・退会者の防止 3) 若者層、学生会員の確保 4) OB会支部、OB会の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> 1) ①2022年度の会員目標数4,650名とする。富山県看護協会会員の連盟入会率は、2021年度約52%(4,635名)であり更に増加を目指す。 ②2021年度、全国の看護連盟において会員確保に成果を上げている好事例を基に会員増加について戦略を立てる ③看護協会と合同研修を開催し、連盟活動への賛同者を増やす 2) ①富山県看護協会役員の連盟加入を促進する ②国立病院や看護系大学等の会員増に向けて、看護協会に協力を得て検討する ③医療機関以外の施設で働く看護職員へ入会を働きかける 【保健所 保育所 一般企業 福祉施設 等】 ④看護連盟未入会者及び看護協会会員の多い施設に対し協力を得る。 ⑤他団体と連携を持ちながら、会員確保を働きかける ⑥定年退職者、産休・育休者、中途採用者に連盟入会と継続を働きかける 「入会書式」を整備し、施設訪問時に利用できるよう15支部に配布する。 3) ①連盟役員等が講演や講義を担当する際に、看護政策や看護連盟について必要な情報を提供する。 ②実習施設や研修施設において看護学生に働きかけ、学生会員の入会を促進する。 ③大学の看護学部や養成施設における主権者教育の実態を把握し、充実を図る。 ④学生の入会について方策を検討する ⑤新入職員、中途採用者に対して連盟入会を周知する 4) ①OB会、OB支部を支部組織として活性化するように支援する ②OB交流会の開催を検討する

目的	目標	方針	富山県活動
	5. 富山県看護連盟の効率的な組織運営	1) 看護連盟の規約に基づいた効率的な運営 2) 財政等の健全化と適正化	1) ①内部ガバナンス(統治)コンプライアンス(法令遵守)に基づき、効果的・効率的な組織運営に取り組む ②組織運営のための規約・規程・申し合わせ等を適宜見直し、安定的な運営に努める ③諸会議(通常総会、役員会、各委員会)の円滑かつ効率的な運営を行う 2) ①費用対効果を見極め、活動の活性化を図る
	6. ブロック協議会の活動強化・促進	1) ブロック協議会の活性化	1) ①ブロック協議会開催時には、活発な情報交換を図る ②ブロック協議会の会長・幹事長会議に参加する ③ブロック別看護管理者等政策セミナーを富山県にて開催し、活性化を図る ④ブロック協議会長会に、必要時本部役員の参加を要請し(リモート参加)ブロック内の問題・課題を共有し検討する
	7. 支部組織の活動の強化・促進	1) 支部組織の強化・支部役員・リーダーの意識の強化 2) 会員のモチベーションの強化	1) ①県別会議において、会員確保方針・第26回参議院議員選挙総括・第27回参議院議員選挙の課題について検討し、支部組織の強化を図る ②役割を発揮できるリーダーの育成を行う ③各支部ごとの研修・ミニ研修の実施状況を集約し、研修会の傾向と対策を検討する ④支部施設、部署管理者の理解を深め、支援や協力を得られる対策を検討する 2) ①看護職国会議員・地方議員等によるミニ研修会(医療・看護を語り合う会等)を開催し、国会議員・地方議員との連携を図る
	8. 若手会員の育成	1) 若手会員の活性化の促進 2) 会員確保・選挙運動における青年部活動の推進	1) ①青年部委員の全国青年部会議(年1回)への参加と内容の伝達を行う ②青年部ブロック別会議に参加し、効率的な会議運営について学ぶ ③青年部の代表者は、役員会議・支部長会議・ブロック別政策セミナー等の各種の会議・研修会等に出席し、リーダーとしての能力を発揮する ④青年部ブロックミーティングに、青年部委員が各1度(年3～4回開催)は参加し富山県看護連盟青年部活動の活性化を図る 2) ①青年部代表が県別会議に参加する【青年部代表として参加する】 ②青年部委員等に若手会員を登用する ③ポリナビワークショップを企画・実施する ④基礎研修資料を活用し、青年部委員が研修講師を務める ⑤政党等が実施する青年部研修会等に積極的に参加する
	9. 関係団体・関係組織との連携・強化	1) 看護協会以外の関係団体との交流の促進	1) ①看護所要望団体との交流の機会を持つ ②支援団体との交流の機会をつくる ③支援企業との交流の機会をつくる ④医療系・介護系団体との連携を図る
会員の福祉の充実	1. 災害への対応	1) 災害発生地への支援	1) ①災害時の情報を発信する ②県看護連盟、県看護協会からの情報収集をタイムリーに行い、被災地の現場の声を国会議員に届け支援協力を要請する ③災害見舞い、支援金等の支援を実施する
	2. 福利厚生への対応	1) 日本看護連盟内規に基づく対応	1) ①名誉会員・叙勲等受章者への対応を行う ②物故者への対応を行う ③慶弔等への対応を行う
	3. 諸問題への対応	1) 会員の安全の保証	1) ①コンプライアンス(法令遵守)に基づく政治活動、選挙活動のための情報交換を行う。 ②諸般の疑問・問題には、日本看護連盟(専門家)と相談し速やかに解決する